

わたしと食

国際医療NGO
AMDA理事長

菅波 茂さん ③



「農業力」高め健康に

好き嫌いが無い方ですが、芋だけは駄目です。戦後の貧しい中で芋がゆや、ふかし芋を食べて育ちました。サツマイモなどを見ると耐乏生活を思い出してしまい、食べる気がしません。家族で食事に行くと、子どもはポテトチップスなどファストフードを食べたがりです。金を出す立場の強みとして、子どもには我慢してもらいます。ポテトチップスは、わたしの家族にとって親子の断絶を招きます。途上国で支援活動をしていると、やはり、食事に芋が出てくることが多い。

村人たちに、芋の思い出を話すと、気持ち打ち解けてきます。芋は好きではないが、悪い経験ではなかったと思います。世の中には無駄なものはないと感じます。

日本で「風邪は万病の元」と言いますが、途上国では栄養不足が万病の元です。貧困と食の知識が乏しいことが原因です。解決には食の知識に加え農業の振興が欠かせません。医療は治療だけではありません。生活の基礎となる食を改善することで健康な体づくりにつながるのも大事です。それには地域の農業力を高めることが不可欠です。